

メルボルン大学学長一行が本学を訪問 「創成研究機構データ駆動型融合研究創発拠点」を設置 日本航空株式会社との連携協定を締結

お知らせ

・「北海道大学の役職員の給与等の水準（令和3年度）」の概要について



メルボルン大学学長一行が本学を訪問

6月27日(月)、メルボルン大学からダンカン・マスケルVC (Vice-Chancellor; 学長相当)、ジェイムズ・マクラスキー研究担当DVC (Deputy VC; 理事相当)、ジャスティン・ゾベル大学院研究&国際研究担当PVC (Pro VC; 副理事相当)、マーク・キャシディ工学・情報科学研究院長、ティモシー・リンチ国際担当教養学副研究院長、マーガレット・メイフィールド生態学部門長(理学研究院代表として来訪)、ジェイムズ・ハッチソン理学研究院上級講師、ミカ・シモダ理学研究院研究支援担当、マリア・ロイトマン国際研究副部長、マーク・グレゴリー国際研究戦略アドバイザーの計10名が北海道大学を訪問しました。

本学とメルボルン大学はこれまで、昨年10月に行われた研究・国際研究担当執行部間のダイアログに基づき、本年3月に「北海道大学-メルボルン大学ヘルシーエイジングに関するバーチャルコンファレンス」を開催しました。

今回、マスケルVC一行は、既存連携先である人獣共通感染症国際共同研究所、電子科学研究所を訪問した後、今後の可能性を見据えてICReDD、スペースミッションセンター、陽子線治療センターの研究施設を訪問し、さらに大学病院、医学研究院、工学研究院、理学研究院、先端生命科学研究院、メディア・コミュニケーション研究院の各部局長等と会談を行いました。また、夕刻には本学とメルボルン大学が共同出資する、「Hokkaido-Melbourne Joint Research Workshops Fund (共同研究ワークショップスファンド)」採択授与式を開催しました。

当該ファンドは、両校の研究者が最低1名ずつ代表者となり合同で申請するもので、初回となる今回は北海道開催3件、メルボルン開催2件の計5件のワークショップが採択されました。採択された本学工学研究院の森 太郎教授、大橋俊朗教授、文学研究院のケリン・ヤコブス特任准教授、保健科学研究院の澤村大輔講師の4名へはマスケ

ルVCより、来学中であったメルボルン大学理学研究院のハッチソン上級講師へは寶金清博総長より、それぞれ採択証書が授与されました。

横田 篤理事・副学長(国際・SDGs)の司会で行われた授与式においては、マスケルVCからは初渡日の訪問先が北海道大学となったことへの想いと今後への期待が、マクラスキー研究担当DVCからは電子科学研究所のナノマテリアルから陽子線治療センターの巨大な機器までスケールの違いを含めた可能性を見せて貰ったとのコメントが、寶金総長からは先住民研究、研究林、練習船を含む新規交流可能性の候補が示され、増田隆夫理事・副学長(研究・産学官連携)より双方の産学官連携拡張への思いが語られました。昨年のオンライン・ダイアログに端を発する全学連携について、今後の強化が期待されます。

(国際連携機構)



参加者集合写真



寶金総長、マスケルVCと採択者たち



マスケルVC



マクラスキーDVC